

キャリア教育だより

令和3年10月7日（木）

都立品川特別支援学校

校長 中山 啓

担当 キャリア教育部主任 松山かをり



<第2号>



中学部1年

1

中学部に入って初めての就業体験を、7月5日(月)に行いました。本校の主事さんのご指導の下、2グループに分かれて校内の廊下や階段の手すり拭きを行いました。タオルのたたみ方や絞り方、丁寧に行い最後まで仕事に集中すること、挨拶や言葉遣いなども意識しながら…「カッコいい働く大人になるため」の学習の第一歩として一生懸命に取り組む姿は、さすがは中学生！小学部の先生方にも「頑張っているね！」と声をかけられ、各自が嬉しそうに仕事に励むことができました。(豊島)



1

中学部2年

6月28日（月）、グラウンドの校内清掃を行いました。本来なら、就業体験として東大井公園の清掃を予定しておりましたが、新型コロナ感染対策のため校内の清掃として、空き缶やペットボトルの回収及び分別、落ち葉拾い等を行いました。活動を通して「働くこと」の大切さを知り、道具の使用方法も理解しながら、主体的に取り組むことができました。(墓本)



小・中学部 今、大切にしたいこと～

高等部より

- ☆基本的生活習慣の確立を確実に！
- ☆小さな頃からの積み重ねが大切！
高等部に入ってからでは、身につけにくい。
そこに時間を取られると、その他を学ぶ時間がなくなる。

⇒進路選択の幅に違いがでる

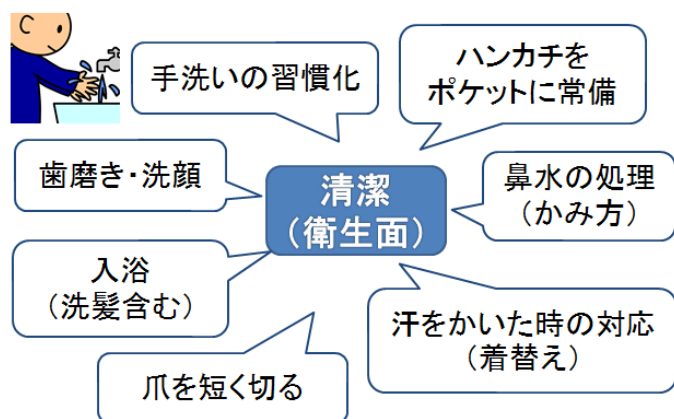
高等部卒業後の関係機関からは…

- 「仕事は入ってからいくらでも教えられる。しかし…次のことは積み上げてきてもらわないと…」
- ☆基本的生活習慣
- ☆コミュニケーション力
- ☆公共の交通機関・施設の利用
⇒ルールやマナーを学ぶ

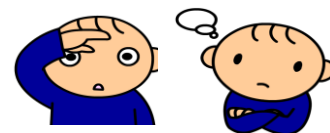
小さな頃からの積み重ねがとても重要な、「日常生活、基本的生活習慣」に関することばかりです。このことは、将来の自立と社会参加へつながります。

特に、基本的生活習慣（睡眠・食事・清潔・着替え・排せつ）は、毎日必ず行うことです。

1回1回がとても大切になります。



【確認】



- ① 自分でできること
- ② 周りの人の支援があればできること
どんな支援が必要？
- ③ 本人ができるのに、ついやってあげてしまっていること
↑これを減らしていきましょう！



知的障害特別支援学校高等部（普通科）について

○生徒数の多さ…通学区域の拡大・地域の支援学級から ⇒

○1クラスの定員…重度重複学級3名・普通学級8名

○教科担任制…本校の中学部のシステムに近い

○部活動…一人通学が確立している生徒のみ、という学校が多い

○通学…SBはあるが、各学校によって乗車できる条件有り 基本は一人通学を目指して取りくむ 放課後等デイサービス、移動支援等の確認も必要

○通学区域や特徴について、各学校のホームページもぜひ確認ください

港特別支援学校 <http://www.minato-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/>

田園調布特別支援学校 <http://www.denenchofu-sh.metro.tokyo.jp/>

| 令和3年度 | 1年 | 2年 | 3年 |
|-------|-----|-----|-----|
| 港 | 49名 | 62名 | 60名 |
| 田園調布 | 44名 | 39名 | 40名 |

【書籍の紹介】キャリア教育部で購入した書籍を、図書室に保管しています。

御来校の際はぜひ御覧ください。

『子どもの発達にあわせて教えるシリーズ⑤お手伝い編』合同出版社

『発達が気になる子へのスモールステップではじめる生活動作の教え方』中央法規出版

『学校が楽しくなる！発達が気になる子へのソーシャルスキルの教え方』中央法規出版 他